

シラバス参照

科目名	幼児理解と教育相談(R5認定通信)	
学習方法	テスト	
単位数	2	
専攻・コース	幼稚園教諭免許法認定通信教育	
履修年次	-	
科目担当者	鳥海 順子 義永 睦子	
スクーリング担当者	-	
メディア授業担当者	-	
レポート添削担当者	-	
到達目標	<p>授業の到達目標は以下の通りです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 幼児理解についての知識を身に付け、考え方や基本的態度を理解している。 2. 幼児理解の方法を具体的に理解している。 3. 保育現場における教育相談の意義と理論を理解している。 4. 教育相談を進める際に必要な基礎的な理論を学び、知識を身につけている。 5. 教育相談の場面において幼児や保護者とのかかわる基本的態度について、理解を深めている。 6. 教育相談の場面において幼児や保護者とのかかわるための方法および技法を身につけている。 7. 教育相談の具体的な進め方やそのポイント、組織的な取り組みや連携の必要性を理解している。 	
授業計画	<p>第1部 幼児理解の意義と原理</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 幼児理解と保育の評価 2. 幼児理解の理解と方法 <p>第2部 保幼小中高の教育相談と接続期支援の基礎知識</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 保育における教育相談の意義～「問題」への全体的・総合的アプローチ 2. 学校における教育相談の意義～「問題」への全体的・総合的アプローチ 3. アセスメントに関する基礎的理解 4. 保幼小連携の接続期支援と子供の理解 5. 小・中・高の接続期支援と子供の理解 <p>第3部 教育カウンセリングの基礎基本および組織内外の体制と連携</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. カウンセリングの基礎理論 2. 相談のプロセス 3. コンサルテーションやコーディネーションの理解と方法 4. 保育の場で行う教育相談と園内体制 5. 学校で行う教育相談と校内体制 関係機関との連携 <p>第4部 実践・教育カウンセリング</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開発的・予防的カウンセリングの理解と方法 2. 学校教育における集団的アプローチ 3. 多様なニーズのある子どもの教育相談と支援体制 4. 集団不応への支援と地域における専門家との連携や制度の活用 5. 家族への支援と地域における専門家との連携や制度の活用 	
成績評価の方法	<p>a.学習方法ごとに「単位認定試験(100%)」により評価する</p> <p>b.その他</p> <p>2回のエクササイズ合格(60%以上の正解)を経て受験する単位認定試験(100%)により評価する。</p> <p>※なお、「スクーリング・レポート」科目など、複数の学習方法を組み合わせて実施する科目については、スクーリングの試験結果(50%)とレポート・テストなどスクーリングを除く自宅学習の試験結果(50%)を合計して評価する。</p>	○
実践的教育を行う授業科目の種別	<p>a: 実務経験を有する担当教員による実践的な授業科目</p> <p>担当教員の実務経験(経歴・資格等)</p>	○
	<p>鳥海順子 略歴 山梨大学教授(教育人間科学部附属教育実践総合センター)、山梨大学教育人間科学部障害児教育講座教授、山梨大学教育学部附属特別支援学校校長を歴任。ガイダンスカウンセラー、学校心理士、養護学校教諭一級普通免許、幼稚園教諭二級普通免許、小学校教諭二級普通免許、中学校教諭二級普通免許。</p> <p>義永睦子 略歴 特別支援学校勤務経験、家庭児童相談室・保育園巡回心理相談・保健センター乳幼児相談の心理相談員経験、幼稚園教諭現職研究会講師、保育園障害児保育現職研究会講師経験。 幼稚園教諭一種免許状、小学校教諭一種免許状、保育士資格、臨床心理士資格。</p>	

授業内容との関連性	子どもの心身及び発達特徴、集団生活、家庭生活全般のアセスメント、及び、それらを基盤とした子どもの理解と特別支援教育の展開、学校内外における連携に関する実務経験
b: 企業や自治体等、学外から実務経験を有する講師を招いて行う授業科目	
学外講師の経歴・資格等	
授業内容	
c: 企業や自治体等との連携により、学外でのインターンシップや実習、研修を行う授業科目	
実習先・実習の目的	